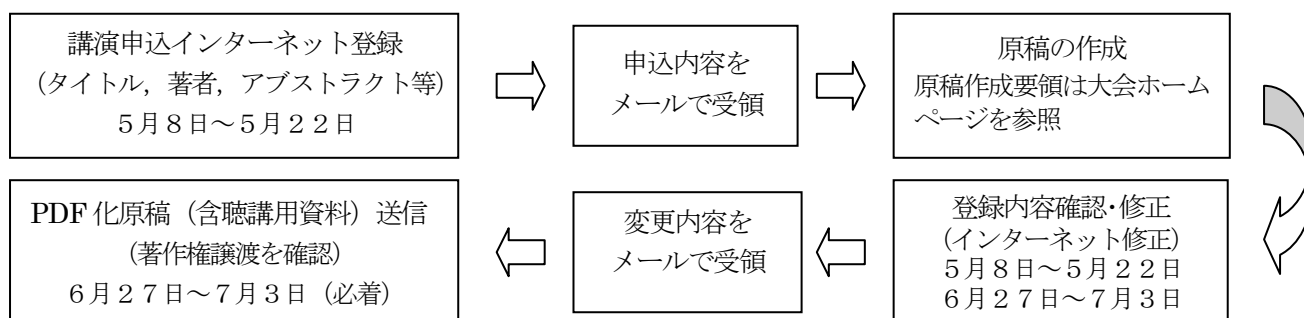


電気学会 電子・情報・システム部門大会

講演申込登録のご案内

(第 5 報)

先月までの公募企画セッションの受付に引き続き、今月はインターネットによる講演申込を受け付けます。講演論文集の冊子にはプログラム、広告、聴講用資料等を掲載し、論文予稿は聴講用資料とともに CD-ROM に収録いたします。このため、大会会場で参加者が読めるのは、通常、聴講用資料のみです。(印刷した予稿の配布はありませんので、ご注意ください。) 聴講者へのアピール度も考慮して、図表を多用した 1 ページの聴講用資料を別途作成していただき、論文原稿とともに PDF 化して送付してください。講演申込から原稿提出までの流れは以下のとおりであり、原稿は PDF 形式に変換していただいた上で Web ページを介して提出していただくことになります。なお、講演申込登録時に記入いただくアブストラクトは、セッションの割り振り用のみに使用されます。



【インターネットによる講演申込登録要領】

1. 申込期間は、5月8日(月)から5月22日(月)の間です。
2. 電気学会電子・情報・システム部門の部門大会ホームページ (<http://www2.iee.or.jp/~eiss/conf2006/>) を開きます。ブラウザは Internet Explorer 5.0 以降、または Netscape Navigator 4.7 以降を推奨します。
3. ページ左側の目次で「講演申込・登録」を選択し、さらに「新規登録」を選択すると講演申込登録のトップページが表示されます。
4. 申込者の連絡先情報を入力していただきます。この中の E-Mail アドレスが今後の連絡先となりますので、十分注意して正確に入力して下さい。すべて入力したのを確認の上、「次へ」を選択します。
5. 講演申込フォームが表示されますので、記入例を参考にして、講演情報の各項目を順次入力して下さい。(必須)と記載された項目は必ず入力して下さい。入力されていない場合には登録できません。使用できる文字や特殊表記等は「別記」を参照して下さい。なお、発表形式では一般セッションか、企画セッションかを選択の上、前者の方は希望分野を、後者の方は企画セッション名をそれぞれ選択して下さい。ただし、講演依頼を事前に受けていない方が企画セッションを希望された場合、プログラムの都合上ご希望のセッションとならない場合がございますので、その点をご承知おき下さい。
6. すべての入力が終わったら、「次へ」を選択します。ここまでの入力内容の確認画面が表示されますので、内容が正しければ「登録」ボタンをクリックして登録し、誤りがある場合にはブラウザの「戻る」ボタンをクリックして修正して下さい。
7. 登録が正常に受け付けられると、登録受理票が表示され、「受付番号」と登録内容にアクセスするために必要な「パスワード」が発行されます。今後の登録内容の確認・修正や、原稿の提出(送付)時に必要ですので、画面をプリントアウトして必ず保管して下さい。
8. 折り返し電子メールにて申込者宛てに確認内容が送られてきます。受信内容を必ず確認して下さい。24時間以内に電子メールが届かない場合には、登録ページ内にある FAQ をご確認ください。
9. 入力された情報のうち、題名、著者名、所属、講演者・論文発表賞審査対象者の目印(○、◎)のみが、大会案内として部門誌8月号に掲載されます。ただし、6月27日～7月3日の期間に修正された内容は、編集の都合上、部門誌8月号の大会案内には反映できませんのでご注意ください。

<注意事項>

申込締切間際は、大変な混雑が予想されます。できるだけ早い時期の申込をお願いします。

<アブストラクト記入について>

上記申込み時に発表内容のアブストラクトを記入していただきます。記入に当たっては、以下の項目を網羅し

て作成願います。

	日本語論文	英語論文
日本語表題	○	—
日本語著者名	○	—
日本語所属先	○	—
英文表題	○	○
英文著者名	○	○
英文所属先	○	○
日本語アブストラクト (300 字以内)	○	—
英文アブストラクト (1,200 バイト以内)	—	○
日本語キーワード (6 個以内)	○	—
英文キーワード (6 個以内)	○	○

<使用可能文字と特殊表記>

申込み時の記入に当たっては、以下の注意を守ってください。

1. 使用できる文字

- ・ 半角文字：英数字，1つのキーで入力できる特殊記号
- ・ 全角文字：JIS 第2水準まで
- ・ カタカナは全角を使用して下さい
- ・ 英数字は半角。JIS コードにない文字は使えません。
- ・ Macintosh の場合，TrueType 形式のローマ数字や丸付文字などの特殊記号は使えません。必ず JIS コードで入力してください。

2. 特殊な表記の方法

講演題目やアブストラクトの中の添字は以下のように HTML タグコード (以下の [,], _,) で入力してください。

上付き文字： ^{対象文字}

下付き文字： _{対象文字}

例：「H[∞]制御」を記したい場合には、「H[∞]制御」と入力します。

注意：タグコードは必ず半角を使用してください。また入力枠内での改行は無視します。特にアブストラクトの記述で改行が必要な場合は、<p>タグを改行個所に入れてください。

3. 講演題目やアブストラクトに、図やイラストを含めることはできません。

4. アブストラクトには URL 等のリンクの記述も認めますが、リンク先情報に頼った記述は避けてください。

5. 入力されたアブストラクトは、通常の学会への投稿と同様、著作権は学会に譲渡していただきます。

【講演申込み内容の確認・修正・取消要領】

登録済みの講演申込み内容は、申込受付期間中、並びに6月27日(火)から7月3日(月)の間は確認・修正が可能です。

1. 上記「講演申込・登録」画面から「確認・修正」又は「取消」を選択します。
2. 新規登録時に発行された受付番号とパスワードを半角で入力します。
3. 登録されている内容が表示されます。修正の場合は下の修正ボタンをクリック、必要に応じて修正してください。修正した場合には「登録ボタン」をクリックします。修正登録後、再度メールが配信されます。取消の場合は下の「取消ボタン」をクリックします。

【原稿作成と送付】

- (a) 原稿はそのまま CD-ROM に収めますので、大会ホームページから入手可能な「電気学会 電子・情報・システム部門大会発表論文の原稿の書き方」に従い作成してください。図や写真にカラーを使うことも可能です。
- (b) PDF 形式への変換にあたっては、6月号ならびに大会ホームページに掲載予定の注意事項をご確認ください。なお変換後のファイルは最大 3 MB に制限します。ファイルサイズを小さくするための情報もホームページに掲載します。PDF化の手段がない場合やファイルサイズ等の制限でPDFファイルを送付できない場合は、原稿受付窓口 (Email: eiss06@gakkai-web.net) にお問い合わせください。
- (c) 原稿はA4判用紙を使用してください。原稿の1ページ目は聴講用資料とし、次ページから論文本体となります。論文本体のページ数は、1～6ページ程度とします。聴講用資料には論文タイトルと著者または講演

者の氏名および所属を記入してください。なお、聴講用資料のフォーマットは自由ですが、A4判用紙の4分の1サイズに縮小されますのでご注意ください。また、投稿原稿に聴講用資料のページがない場合は、論本文体の1ページ目がそのまま聴講用資料として代用されますが、同様に縮小されて読みづらくなりますのでご注意ください。

- (d) 7月3日(月)必着で、大会ホームページで指定する Web ページを用いて提出してください。提出は、ファイル名の選択後、送信ボタンを行うことでできますが、その前に、著作権譲渡に関する文章をお読みください。送信操作は、譲渡の承認と見なします。紙の提出はありません。
- (e) 部門誌への投稿：昨年と同様に、C部門大会での講演の中から優秀な研究発表を特集論文として投稿いただく部門大会特集号(平成19年7月号、平成18年10月23日(月)締切)を予定しています。大会での討論結果をもとに論文として完成させ、奮ってご投稿ください。

【開催概要】

会期：平成18年9月5日(火)、6日(水)

会場：関東学院大学 金沢八景キャンパス (〒236-8501 横浜市金沢区六浦東1-50-1)

内容：一般講演、企画セッション講演(公募、技術委員会、大会委員会による企画)、特別講演、先端技術セミナー、懇親会

発表分野：電子材料、電子デバイス、電子・集積回路、光・量子エレクトロニクス、医用電子・生体工学、電子応用、センシング、通信・ネットワーク、マルチメディア、音声画像処理・認識、制御・計測、ロボティクス、ソフトコンピューティング、システム、ソフトウェア・情報処理、エレクトロニック・コマース、社会・環境システム

発表内容：発表の内容は、最近行った研究および調査の結果、または成果をあげた新しい企画および試験結果の報告、新製品の技術的紹介などで、学術的に価値のある未発表のものに限ります。なお、内容が不適当と認められるものは採択いたしません。

発表時間：1件あたり20分(討論含む)。公募企画セッションでの講演も1件あたり20分を目安とします。

発表資格：特に問いません。会員以外の発表も歓迎します。ただし、

(a) 講演は1人1件を原則とします(同一人が数件の応募論文に共著として参加することはさしつかえありませんが、内容が極めて類似したものを数件にわたって発表することは認められません)。

(b) 使用言語は、日本語または英語とします。

大会参加費：(会員：不課税、会員外：消費税込み、講演論文集一冊の代金を含みます。)

(a)正員(協賛学会員を含む) 11,000円 (b)准員・学生員(協賛学会員を含む) 3,000円

(c)会員外 14,000円 (d)会員外学生 6,000円

*ただし、会員外学生の中で希望者については、本参加費をもって電気学会への加入を認めます(平成18年度分会費に充当)。

表彰：本大会における優秀論文発表者および優れたセッションオーガナイザに下記の賞を贈呈いたします。

優秀論文発表賞 (優れた論文を発表された、大会期日内で満35歳程度以下の方) 若干名

企画賞 (優れたセッションを企画実行されたC部門登録者の方) 若干名

C部門奨励賞 (優れた論文を発表されたC部門登録者で、大会期日内で満35歳程度以下の方) 若干名

また、参加者数が多かった企画セッションに対しては、優遇措置の制度があります。

特別講演：

日時：平成18年9月5日(火)午後

講師：渡辺えり子氏(関東学院大学工学部客員教授、女優・演出家・劇作家)

<講師プロフィール>

劇団青俳演出部を経て、劇団「300」を結成、97年に同劇団を解散し、01年に「宇宙堂」を旗揚げ。舞台、映画、テレビなどで活躍。映画『Shall We ダンス?』での日本アカデミー賞最優秀助演女優賞受賞をはじめ受賞多数。06年4月より、関東学院大学工学部客員教授。

【CPD 受講証明サービス】本大会へのご参加・論文発表等は、当学会が登録・管理する技術者継続教育(CPD)受講証明サービスの対象です。詳細は、電気学会ホームページ(<http://www.iee.or.jp/honbu/cpd.html>)をご覧ください。

【主催】電気学会 電子・情報・システム部門

【共催】電気学会 東京支部

【協賛】(依頼中) 映像情報メディア学会、エレクトロニクス実装学会、応用物理学会、計測自動制御学会、システム制御情報学会、情報処理学会、照明学会、電子情報通信学会、日本e-Learning学会、日本感性工学学会、レーザー学会

【電子・情報・システム部門大会ホームページ】 <http://www2.iee.or.jp/~eiss/conf2006/>

【問い合わせ先】(社) 電気学会 事業サービス課 電子・情報・システム部門大会係
〒102-0076 東京都千代田区五番町6-2 Homat Horizon ビル8階
E-mail: conf21c@iee.or.jp Tel: 03-3221-7313 Fax: 03-3221-3704